

7月25日(日)／図書館お泊り会
普段とは違う図書館を体験

町立図書館（大字大島）では、町内の子どもたちに図書館を身近に感じてもらいながら、新しい本との出会いを後押しするため、夏休み特別企画として、「図書館お泊り会」を開催しました。今回で、6回目を迎える人気のお泊り会は、町内在住の小学6年生12名が、自由に読書をして宿泊をする企画となっています。

参加した子どもたちは、夜の図書館で普段は入れない閉架書庫を見学後、好きな場所で自由にくつろぎながら、図書館を満喫していました。

今後も、図書館では様々な事業を実施していきますので、「広報すぎと」や「図書館だより」等をチェックして、参加してください。
△町立図書館



8月17日(火)／寄付金贈呈式
感染症対策のために寄付をいただきました

栗原文雄様（元町議会議員）から、新型コロナウイルス感染症対策として活用してほしいとのご意向を受け、町へ現金5万円の寄付をいただきました。
△財産管理課



(写真左から)古谷町長、栗原文雄様

古谷町長コメント：寄付をいただきましたことは大変ありがたく、有効に活用させていただきます。
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

7月30日(金)／3R推進講座
親子で3Rについて学ぶ

3Rの普及啓発を図るため、小学生とその保護者を対象に、「3Rでゴミを減らそう」をテーマに、ゴミの現状と減量化について、親子で学びながら、環境センターの施設見学も行いました。
△環境課



受講者には、県の3R推進員として認定され、3R推進員カードと記念品が配布されました。

3R＝「Reduce（リデュース）・ゴミを減らす」
「Reuse（リユース）・繰り返し使う」
「Recycle（リサイクル）・資源として再利用する」

7月12日(月)／しごと創造ファクトリー ひとつ屋根の下オープン
「ひとつ屋根の下」オープンウィークを開催しました

旧杉戸町観光案内所「杉戸町流灯工房」（杉戸三丁目）の利活用について、町が事業者公募及び選定を行い、4月より「choinaca合同会社」が「しごと創造ファクトリー ひとつ屋根の下」として活用をしています。

今回、施設の内外装を「choinaca合同会社」がリノベーションし、7月12日(月)～18日(日)までの1週間、講座や雑貨の展示販売等を行う「オープンウィーク」として開放し、多くの方が来場されていました。

今後、地域活動の拠点として、様々な事業を展開していきます。
△商工観光課

【choinaca合同会社】
～地域に仕事をつくり、ひととまちをつなぐアクションを展開～

- ・自分と地域のリソースを活用しクリエイションできる人づくりを支援する女性ユニットです。
- ・「ちょっと田舎」で小さく楽しい自立の形を提案し、起業を目指す女性と地域の発展をつないでいます。
- ・「ひとつ屋根しごとの教室」「しあわせすぎマルシェ」「わたしごとJAPAN」など様々な講座やイベントを開催しています。



◀リノベーションされた外観

▼オープンウィークでの展示

「ひとつ屋根の下」の活動の詳細はこちら



7月26日(月)／子育て応援フードパントリーへ寄付
子どもたちへの支援の輪が広がる

杉戸町椿の上原農場様より、町内の生活困窮世帯の子どもたちに丹精を込めて作ったお米を食べてもらいたいという申し出を受け、杉戸産の減農薬米「コシヒカリ」「彩のきずな」の寄付をいただきました。
△農業振興課・福祉課・子育て支援課



(写真左から)すぎと居場所づくり応援隊 寺田代表、古谷町長、上原農場 上原氏

寄付いただいたお米は、町内の生活困窮世帯に食料品を無料で配布する活動を行う、「すぎと居場所づくり応援隊」に寄付されました。
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

7月5日(月)～／大型灯ろう展示会
間近で見られる「大型灯ろう」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度も夏の風物詩である「古利根川流灯まつり」の開催が見送られました。開催に向けて、ボランティアの方々に絵を描いていただいた大型灯ろうを「流灯ふれあい館（清地一丁目）」内で展示しています。
△商工観光課



展示中の大型灯ろうは、古利根川の川面にある大型灯ろうとまた違った姿を見せてくれます。

7月29日(木)／ソフトテニス全国大会出場報告
全国出場への喜びと全力プレーを誓う

8月5日(木)より千葉県で開催予定だった「第38回全日本小学生ソフトテニス選手権大会」を前に、杉戸ジュニアテニススポーツ少年団の選手4名が古谷町長を表敬訪問し、コーチ・家族・友人らへの感謝とともに今後の活躍を誓いました。
△社会教育課



(写真前列左から) 木原祐翔・小沼優希ペア／吉田零・松村佳紀ペア

新型コロナ感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、大会は中止となりました。
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

7月6日(火)／2021年原水爆禁止国民平和行進
核兵器のない世界へと願いを込めて

核兵器廃絶・非核平和の願いを世界に伝えるための平和行進が行われました。当日は、参加者全員がマスクを着用するなどの感染症対策を実施し、杉戸町役場で出発式を行いました。
△住民協働課



杉戸町役場から宮代町役場を目指して行進し、平和の大切さや命の尊さを呼びかける機会となりました。



50年の時を超え開花

7月15日(木)／杉戸町内（清地一丁目）

数十年に一度しか咲かないという「リュウゼツラン」を育て始めて50年が経過する今年、見事に開花しました。成長したリュウゼツランの背丈は6～7mまで伸び、松のような形をして一度咲くと枯れてしまうそうです。オリンピック開催の年に初めて咲いた花に感無量ですと語っていました。



(広報特派員 渡辺 光子、坂本 吉江)

書に慣れ親しもう

7月6日(火)／中央公民館（杉戸三丁目）

悠鳳書会主催の「富田幽蒲インテリアの書展」が開催されました。インテリアの一つとして作品を飾るといった「インテリアとして書を飾ろう」をテーマにした作品展示となっていて、多くの書が飾られていました。
(広報特派員 渡辺 光子)

